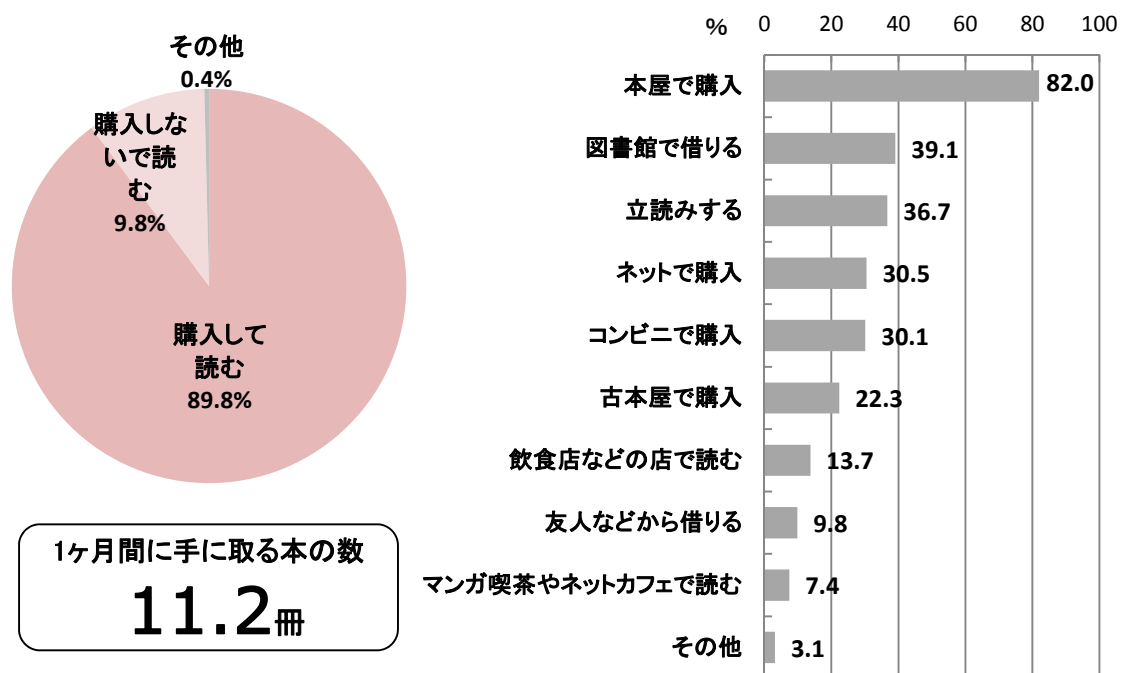


ここ2～3年、あなたは本をどうやって読んでいますか？ 1ヶ月間に手に取る本の数は？



本は買うもの？読むもの？

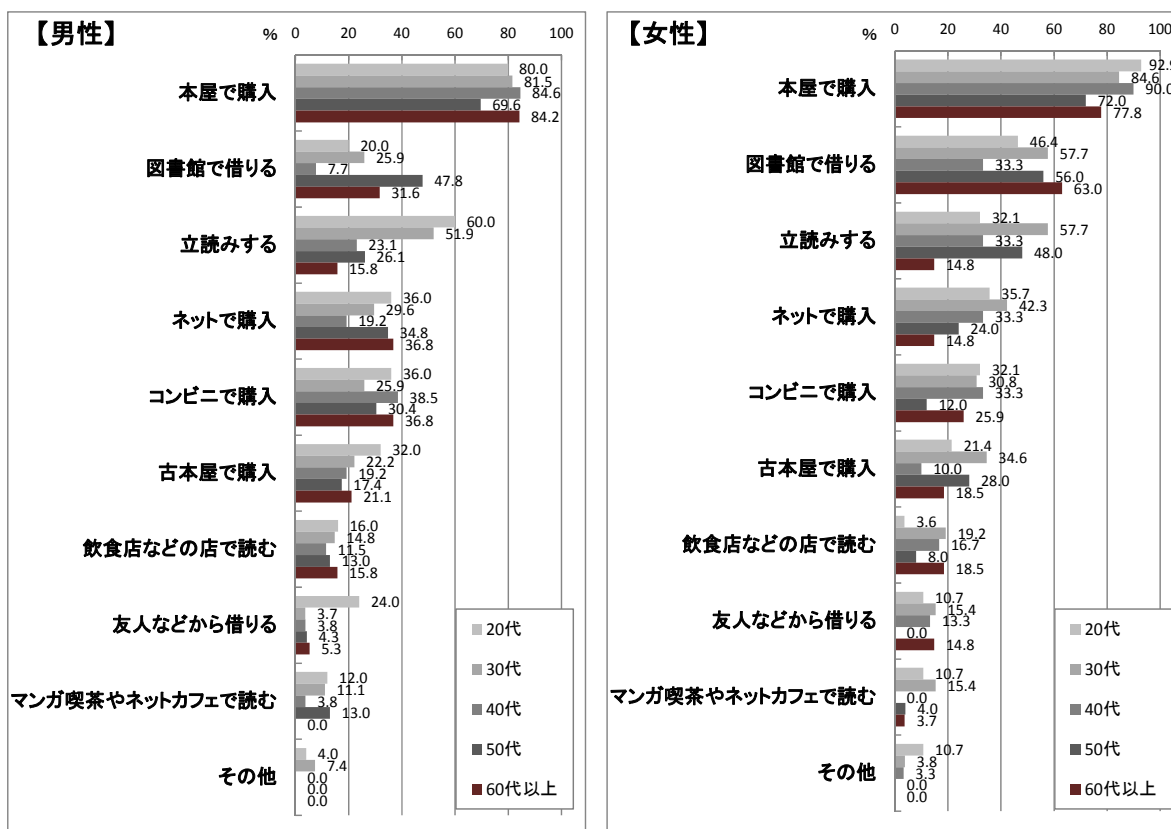
平成22年度の岡山県立図書館の来館者数と個人貸し出し冊数が、全国の都道府県立図書館の中で最多となり、いずれもが6年連続で全国1位となったことが先日発表されました。平成22年度の家計調査では、年間書籍費は東京都区部18,886円に対し岡山市は7,685円、年間雑誌・購入費は東京都区部6,066円に対し岡山市5,599円となっています。旬の本を次々と購入していく人もあれば、既に評価の定まった保存版タイプを好む人もいられるでしょう。読書シーンを探っていくと、岡山県民のライフスタイルの一端が見えてくるかもしれません。

毎月「岡山生活者意識調査」にご協力いただいているモニターの皆さんに、本の入手先と、1ヶ月間に読む本の数を聞いてみました。購入して読む人は9割、購入せずに読む人が1割という結果です。「図書館で借りる」と回答した人は39.1%、「ネットで購入」30.5%にはユーズド購入やWEB雑誌・小説なども含まれていると考えられます。『しっかり』読む書籍は1ヶ月間で2.8冊、『サラッと』読む書籍は2.3冊で、計5.1冊。忙しい生活の中、結構読んでいます。

身についた活字接触の習慣が活用できる環境を、岡山県民はどのように継続・発展させていくのか、楽しみにしたいと思います。

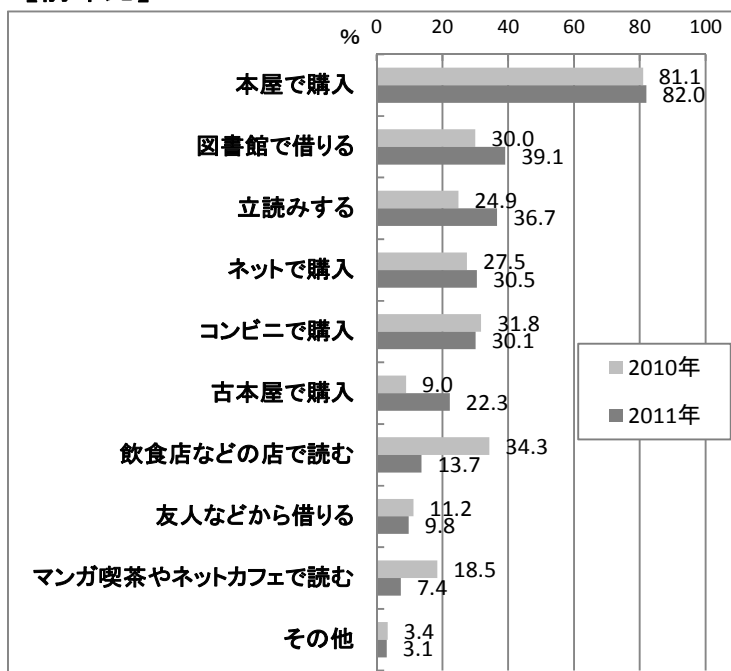
【調査概要】 調査時期：2011年8月25日(木)～8月31日(日) 調査対象：岡山県在住の男女268名(「岡山生活者意識調査」にご協力いただいているモニター様)※社会人のみ 調査方法：インターネット調査 ◎男性50.0%、女性50.0% ◎20代24.6%、30代24.6%、40代24.6%、50代以上26.1% ◎岡山市37.3%、倉敷市23.9%、その他県内38.8%

●ここ2～3年、あなたはどのように本を読んでいますか？（複数回答）



「本屋で購入」する人は、男女共に他年代に比べると50代がやや少ないようです。入手先によって年代差が大きく見られるのは女性のほうで、読書スタイルに影響を与えている様子が見えます。

【前年比】



前年結果と比較すると、「本屋で購入」「コンビニで購入」などの実店舗での購入は、ほとんど変化は見られません。「ネットで購入」がやや増加しています。大きく増加しているのは「図書館で借りる」「立読みする」「古本屋で購入」。大きく減少しているのは「飲食店などの店で読む」「マンガ喫茶やネットカフェで読む」で、それら店舗への消費の減少と考えられます。

※前回調査：実施時期2010年10月◎インターネット調査◎男性50%、女性50%◎20代25.0%、30代25.8%、40代25.0%、50代以上24.2%

●平均して1ヶ月間に、どのくらい本を読みますか？（数量回答）

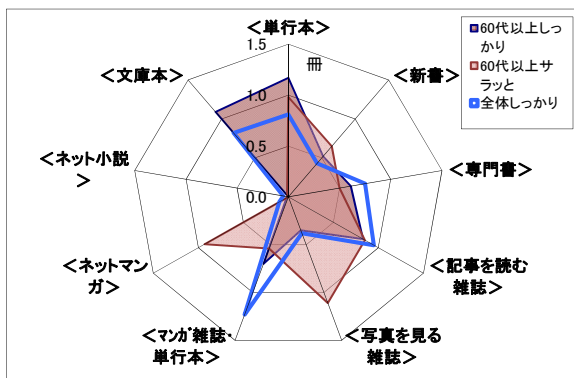
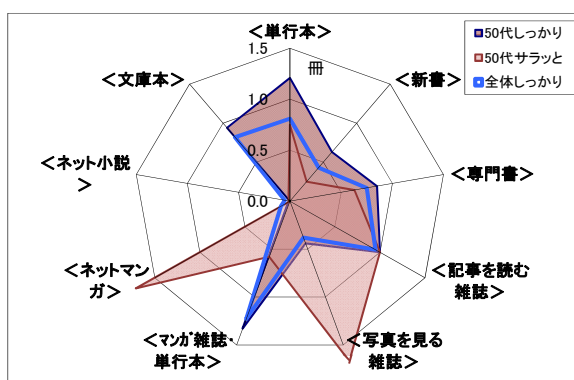
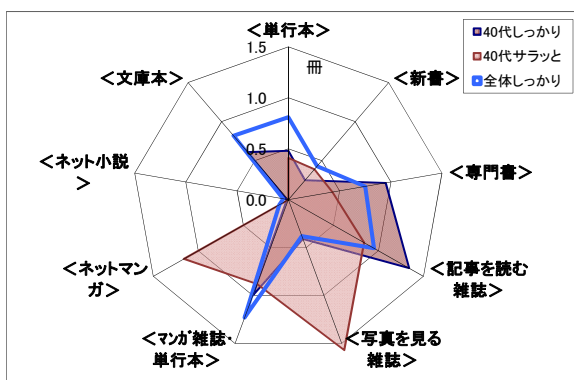
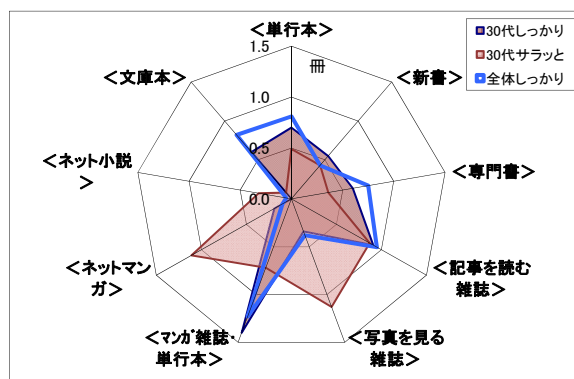
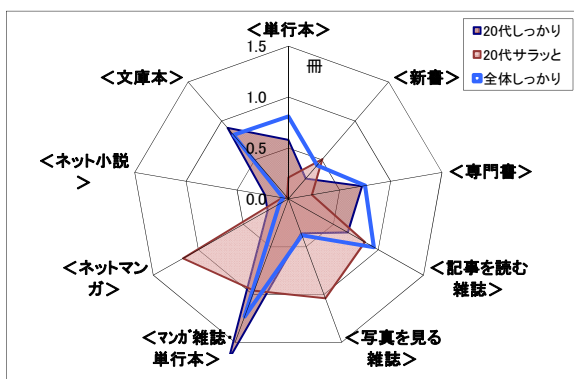
購入したり図書館で借りたりなど『しっかり』読む場合と、店や職場で読んだり立読みするなど『サラッと』読む場合の、2つの活字接触状況シーンを設定し、それぞれのシーンの1ヶ月間の読書冊数を、9ジャンルに分けて回答してもらいました。

『しっかり』読む本は1ヶ月間で5.5冊。うち、「書籍」が2.8冊、「雑誌」が1.3冊、「マンガ雑誌・単行本」が1.2冊、「ネットマンガ、ネット小説」が0.2冊。1.0冊を越えるのは9ジャンルのうち「マンガ雑誌・単行本」のみでした。

『サラッと』読む本は1ヶ月間で5.7冊。うち、「書籍」が2.3冊、「雑誌」が2.1冊、「マンガ雑誌・単行本」が1.2冊、「ネットマンガ、ネット小説」が0.1冊。1.0冊を越えるのは「記事を読む雑誌」「マンガ雑誌・単行本」の2ジャンル。

『しっかり』読む本と『サラッと』読む本を合わせると、岡山県民が1ヶ月間に手に取る本は11.2冊となりました。

【年代別】



本件に関するお問い合わせ
 協同組合 岡山情報文化研究所 / 原内
 〒700-0824 岡山市北区内山下 1-3-1
 電話 086-225-8181
 「岡山トレンドウォッチャー」
<http://www.vis-a-vis.co.jp/>